



にちなん

第33号

平成29年5月1日発行

議会だより



主な内容

- ◆ 第1回定例会の開催結果…………… 2ページ
 - ◆ 特別委員会活動中間報告…………… 8ページ
 - ◆ 6月定例会開催予定…………… 10ページ
 - ◆ 市政を問う 一般質問…………… 11ページ
 - ◆ 議場及び議会事務局移転のお知らせ… 17ページ
 - ◆ 審議結果一覧…………… 18ページ
- 今号の表紙■ 平成29年4月8日にオープンした、子育て支援センター「ことこと」のようす。

第1回定例会を開催

正副議長、各常任委員を選任

～議長に安竹 博氏を再任、副議長に濱中 武紀氏を選任～

平成29年第1回定例会は、平成29年2月23日から3月17日までの23日間開催され、平成28年度一般会計予算などの市長提出議案や議員提出議案、あわせて42件を審議しました。（審議結果につきましては、18ページの「審議結果一覧」をご覧ください。）

また、正副議長、各常任委員、議会運営委員、議会選出委員等を決定しました。
正副議長、常任委員等の構成は次のとおりです。

正副議長

議長



安竹 博

副議長



濱中 武紀

議長あいさつ

本市を取り巻く情勢は、未だ厳しいものがあり、その中で市議会は、「執行機関と一歩離れて、身を離れず」を肝に銘じ、今後も執行者側と是々非々で大いに議論を闘わせながら、市民の負託に応える努力をしていく所存であります。

そのためには、市民に開かれた議会形成に向けた議会改革は当然のことながら、インフラ整備、産業の振興など、市民の皆様の福祉向上を目指し、諸課題に取り組んでいかなければなりません。

市民の皆様が住んでよかった、住み続けたいと思える、誇りあるまちづくりを協働で推し進めていきたいと思っておりますので、市民の皆様におかれましては、今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

日南市議会議長

安竹 博

議会運営委員会

定例会、臨時会の会期及び会期日程等に関する事項、議会の会費規則及び委員会条例、その他規程等に関する事項、議長の諮問に関する事項について、審議及び調査、研究を行います。

委員長 山田 一
副委員長 岩永 憲明
委員 北川 浩一郎
黒部 俊泰
和足 恭輔
田中 重信



和足委員、黒部委員、北川委員、田中委員、岩永副委員長、山田委員長

総務市民委員会

総合戦略課、地域振興課、総務課、職員課、財務課、税務課、会計課、市民生活課、美化推進課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び議会事務局の所管に属する事項、総合支所の所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項、他の常任委員会に属さない事項を審査します。



委員長 小玉 弘明
副委員長 前田 幸雄
委員 郡司 誠一
山田 憲明
岩永 恭輔
和足 重信
田中 博
安竹

郡司委員、岩永委員、山田委員、和足委員、安竹委員、前田副委員長、小玉委員長、田中委員

文教厚生委員会

国保年金課、健康増進課、福祉課、長寿課、こども課、教育委員会及び中部病院の所管に属する事項、総合支所の所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項を審査します。



委員長 杉尾 麻起子
副委員長 黒部 俊泰
委員 林 一彦
福岡 浩一
中尾 貞美
井福 秀子
(欠員1名)

井福委員、福岡委員、中尾委員、林委員、杉尾委員長、黒部副委員長

産業建設委員会

農政課、農村整備課、水産林政課、商工政策課、観光・スポーツ課、建設課、建築住宅課、下水道課、水道課及び農業委員会の所管に属する事項、総合支所の所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項を審査します。



委員長 谷口 慎二
副委員長 北川 浩一郎
委員 川越 昇
山本 定則
川口 和也
濱中 武紀
(欠員1名)

濱中委員、山本委員、川越委員、谷口委員長、北川副委員長、川口委員

その他の選出委員等

■総合交通・産業活性化対策特別委員会

前委員の濱中武紀議員が副議長に就任したことに伴い、委員及び副委員長の変更がありました。

委員長 福岡 浩一
副委員長 前田 幸雄
委員 山田 幸一
川口 和也
井福 秀子

■議会選出監査委員

山本 定則

■日南串間広域不燃物処理組合
議会議員

安竹 博、小玉 弘明
杉尾 麻起子、谷口 慎二
郡司 誠一、林 一彦
山本 定則

■議会だより編集委員会

委員長 和足 恭輔
副委員長 田中 重信
委員 杉尾 麻起子

黒川 浩一郎
山本 定則

平成29年度 一般会計予算などを可決

～市長選挙を控えた一般会計骨格予算249億7,000万円～

平成28年度関連議案

■議案第1号 平成28年度日南市
一般会計補正予算(第5号)

平成28年度一般会計補正予算の補正額は8億2565万3千円で、補正後の予算総額は301億2165万3千円となりました。

ふるさと応援基金や財政調達基金などへの基金積立をはじめ、誘致企業に対する補助金、小中学校の環境整備事業などを追加するとともに、事業確定に伴う災害復旧事業費などの減額を行っていきます。

《補正予算の主な事業》

◇ふるさと応援基金積立金

〔3億1633万9千円〕

平成28年度中に、本市を応援するために寄附された寄附金を基金に積み立てるものです。

◇企業誘致促進事業

〔1964万円〕

誘致企業に対する優遇措置に要する経費の助成を行うものです。



◇小学校施設整備事業

〔1億1512万6千円〕

◇学校空調整備事業

〔8307万円〕

◇中学校施設整備事業

〔1億328万1千円〕

国の補助金を活用し、平成29年度以降に整備を予定した左記工事を前倒しで実施するものです。

・大堂津小 校舎外壁改修工事

・大窪小 校舎外壁改修工事

・桜ヶ丘小 下水道接続工事

・吾田小 校舎トイレ改修工事

(洋式化)

・油津小 空調設備設置工事

・鉄肥中 校舎外壁改修工事

・吾田中 校舎外壁改修工事

■議員提出議案第8号 日南市議会委員会条例の一部を改正する

条例

議会において、乳幼児から義務教育までの子育て支援及び空き家対策等一元して審査するなど効率化を図るため、2つの常任委員会の名称及びその所管を変更するものです。

・(変更前) 総務文教委員会

↓(変更後) 総務市民委員会

・(変更前) 市民厚生委員会

↓(変更後) 文教厚生委員会

平成29年度関連議案

■議案第16号 平成29年度日南市
一般会計予算

平成29年度一般会計予算は、重点戦略プランに基づき、コンセプトである「創客創人」を戦略的に推進するための事業を基本としています。4月に市長選挙を控えていたことから、骨格予算の編成となり、平成28年度当初予算額より8.2%減の249億7千万円となりました。

各種事業等及び他の議案の概要については、次ページ以降の委員会の審査概要をご覧ください。



本会議のようす

■日南市一般会計予算

◇賦課徴収一般事務費事業

(2494万5千円)

市税の賦課徴収に要する経費のほか、平成29年度からの特別徴収完全実施に向けた取組により約400件の特別徴収事業所の増加が見込まれており、新規事業者や拒否事業者への指導に取り組む経費です。

【審査の概要】

(問) 新築住宅等の平成28年度の実績はどうだったのか。

(答) 新築住宅145棟、アパート等16棟、その他も含めて新築合計で209棟であった。

◇コンビニ交付サービス事業

(272万6千円)

個人番号カードを利用して、コンビニの多機能端末(マルチコピー機)で、住民票や印鑑証明書等の証明書を取得できるサービスに要する経費です。

◇個人番号カード交付事業

(798万8千円)

マイナンバー法の施行に伴い、



委員会審査のようす

通知カード及び個人番号カード関連業務を地方公共団体情報システム機構(J-LIS)に委任するための交付金と通知カード及び個人番号カード交付事務に要する経費です。

◇救命率向上AED設置事業

(687万2千円)

市内の公共施設やコンビニエンスストア等に設置されたAEDの更新等を行い、救命率の向上を目指す事業です。

◇庁舎管理費事業

(8076万9千円)

庁舎管理(保健福祉センター、南別館、旧消防庁舎、旧ゲオを含む)では、庁舎機能の移転や施設

の増加、分散化により修繕料や光熱水費等の維持経費の増加が見込まれますが、さらなる効率的な管理・運用を心がけ、計画的に改修を進めるための事業です。

◇ふるさと応援寄附金事業

(2億4831万円)

返礼品や申込方法の充実を図り、本市魅力の情報発信を行い、寄附者の増大を目指す事業です。

◇津波対策緊急整備事業

(1億1664万1千円)

津波浸水想定区域の地域住民と行政が一体となり、安全かつ円滑に避難できる体制を整備し、避難困難地域の解消を図ることを目的に津波緊急避難施設の整備を行うものです。

◇日南市長選挙費

(2310万5千円)

平成29年4月25日に任期満了を迎える日南市長選挙の執行にかかる費用です。

◇日南市議会議員補欠選挙費

(661万7千円)

日南市議会議員に2名の欠員が生じたことにより、公職選挙法第113条第3項第3号により、市

長選と同日に執行される市議会議員補欠選挙の執行にかかる費用です。

◇コミュニティバス運行事業

(3999万5千円)

高齢者や児童等の通院や通学等のための交通手段を確保するため、細田、酒谷、北郷及び南郷地域において運行を行う事業です。

◇リサイクルストックヤード管理費

(4132万7千円)

平成29年度から導入される廃プラスチックの資源化について、収集体制を含め円滑な導入及び適正に再資源化することで、ごみの減量化や環境負荷の低減を図るものです。



現地調査のようす(リサイクルストックヤード)

文教厚生委員会の審査概要

■日南市一般会計予算

◇健康増進事業（がん検診費）

（5873万7千円）

がんは、日本人の死亡原因の第一位です。早期発見・早期治療を行うために定期的ながん検診の普及を図り、受診率の向上を推進するための事業です。

◇将来を担う次世代育成事業

（928万6千円）

小中学生の発展・応用分野の拡充を図り、高校生の学力向上支援や指導者の授業力向上に向けた取組を行うための事業です。

【審査の概要】

（問）予備校派遣を平成25年度から実施しているが、高校卒業後の実績はどうなっているのか。

（答）生徒へは、勉強への取り組みなど刺激になっており、回りへのいい影響にもつながっている。

◇児童福祉総務一般事務費

（85万9千円）

本年7月から、マイナンバーカードを活用した子育て関連の申請のサービスが始まります。そ



現在の旧伊東家主屋のようす

の回線を接続する経費を含む事務費です。

◇高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画推進事業

（519万2千円）

高齢者保健福祉計画や地域包括ケアシステムの構築に向けた第7期介護保険事業計画（平成30年～32年）を策定するための経費です。

◇伝統的建造物群保存事業

（3931万6千円）

【主な内訳】

※旧伊東家主屋修景

（2451万8千円）

※旧山口家主屋修景

（1192万3千円）

※伝建地区選定40周年記念事業

補助金

（210万円）

【審査の概要】

（問）旧伊東家は、改修後の利活用について、何か計画があるのか。

（答）旧伊東家の新たな所有者は、飲食店をされる方への賃貸を計画していると伺っている。

◇図書館費

（5321万3千円）

生涯学習の拠点施設として、読書環境の充実を図るとともに、市内4館が連携し、サービスの向上に努め、また、図書館資料の充実と読書普及活動を推進するための経費です。

【審査の概要】

（問）図書館4館の統廃合について、どのように考えているのか。

（答）市民が均一なサービスを受けられることを考えており、統廃合に関しては、来年度中にある程度の方針を示したい。

■議案第33号 日南市杉の友教育振興育英基金条例を廃止する条例

例

高校生等奨学給付金が全学年になったことに伴い、本基金条例を廃止するものです。

なお、条例廃止後の基金残金に

ついては、日南市育英奨学基金に積み直して、奨学基金の目的に沿って活用されます。

■議案第34号 日南市有住宅条例の一部を改正する条例

教職員住宅のうち、大窪教職員住宅第1号及び第2号の用途を廃止することに伴い、条例の改正を行うものです。

■議案第35号 日南市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部を改正する政令が公布され、第1号被保険者の保険料段階の判定に用いている合計所得金額について、所要の改正を行うものです。



委員会審査のようす

■日南市一般会計予算

◇明日の地域づくり支援事業

(1570万2千円)

魚の町なんごう活性化協議会が主体となり、南郷の魚のブランド化の推進や、PR活動を実施する新規事業です。

【審査の概要】

(問) どのような魚をブランド化するのか。

(答) アジを中心に組み組んでいく。合せて、カツオ・マグロの加工品にも力を入れていく。

◇企業誘致促進事業

(4029万9千円)

企業立地の推進と、立地認定による雇用奨励金の支給をはじめとした、企業誘致の促進を図る事業です。

【審査の概要】

(問) IT企業における雇用形態はどのようなものか。

(答) 現在10社のIT企業があるが、雇用はすべて正規社員である。



委員会審査のようす

◇観光施設管理費(4612万円)

観光施設の維持管理に係る経費です。その中でサンチェリー北郷露店風呂・北郷駅トイレ等の修繕に2443万9千円を予算化しています。

【審査の概要】

(問) サンチェリー北郷の露天風呂改修においておび杉を使用するが、耐久性はあるのか。

(答) 露天風呂は指定管理条件にも関わってくる部分なので、メンテナンスをしっかりと行い、良好な維持管理に努める。また、管理運営のあり方については、今後、検討していく。

◇クルーズ船誘客促進事業

(2903万3千円)

クルーズ船の受け入れや、岸壁の整備及び誘致活動を実施し、広域的な経済効果に取り組む事業です。

【審査の概要】

(問) クルーズ船1寄港における対応費と、今年度はどれくらいか。寄港回数を見込んでいるのか。

(答) 船の規模、寄港の時間帯等によって異なるが、100万円以内でやっていく。今年度は30回の寄港を目標に誘致していく。

◇日南振徳高等学校通学路整備事業

(1億140万円)

県立高校統合に伴う生徒数の増加で交通事情が変化したため、地域住民や通学生徒の安全を図るため、道路改良と歩道・自転車専用レーンの整備を行う事業です。

【審査の概要】

(問) 整備が完成するのは何年度になるか。

(答) 交差点から事業効果を出すようにすすめているが、本年度と同程度予算組みで平成32年度と考える。

◇公有林整備事業(38992万円)

森林の持つ多面的機能を維持し、市有林の良質材生産を図るための育林事業です。また森林資源の有効利用の促進及び自然環境保全のため、国が推進する森林認証を市有林において取得します。

【審査の概要】

(問) 森林認証制度は、どのような制度なのか。

(答) 適切な森林経営、持続可能な森林経営が行われている森林を審査・認証し、それらの木材等を表示・管理することにより、森林経営を支援する制度である。東京オリンピック・パラリンピックの関連施設において、森林認証材を活用することが公表されている。



現在の日南振徳高校通学路(市道今町仮屋線)

特別委員会活動中間報告

現在設置している3つの特別委員会における、平成28年度の活動経過を報告しました。

その概要は、次のとおりです。

■議会改革推進特別委員会

本特別委員会は、平成27年第3回定例会において、本市議会の活性化を図るとともに、市民の信託に応える開かれた議会形成に向けた議会改革を推進することを目的として、6名の委員をもって設置されました。

平成28年度につきましては、6回の委員会を開催し、主に議会報告会の開催についてや、運営基準の見直しなどを協議して参りました。

まず、議会報告会につきましては、10月27日から11月11日まで、3班体制により9地区・9会場において開催いたしました。

今回は、各地区の自治会長会に出向き開催案内を行うとともに、パワーポイントを活用し議会活動

や政務活動費について説明いたしました。

その結果、207人の方に参加いただき、昨年度の166人と比べて、41人の増加となりました。

開催を通じ、説明方法の工夫や政務活動費の説明は、おおむね好感触でありましたが、地区別開催の是非、出された意見の取り扱い、パワーポイントの作成方法など、幾つかの課題も見受けられたところでした。

こうしたことから、課題解決に取り組むべく、議会改革における先進事例を調査・研究するため、本年2月に東京都小平市議会と福

島県会津若松市議会への行政視察を行い、先方の議員との意見交換も交えながら、先進事例について、学ばせていただきました。

まず、小平市においては、広聴広報特別委員会を設置され、委員を広聴チームと広報チーム体制に分けて活動すると共に、議会報告会は地区や常任委員会単位で行うなど、市民からの意見を多様な方法で聴取され、意見はデータベース化し議員間での情報共有が行われていました。

さらに、今年度は議会による条例制定につなげていかれているその手法は、大変参考とするべきものでありました。

また、会津若松市は、議会改革では全国トップクラスの実績を挙げておられる議会であり、市民の声を議会の政策形成に生かすため、市民参加型政策サイクルを構築・実践されていきました。

具体的な事例として、市が行う除雪作業について、議会報告会での市民の意見を受け、現地調査、執行部との意見交換、議会での議論、市長への政策提言、実際の作

業の見直しという流れが説明されました。

テーマを絞った議会報告会の開催や、外部の委員も入る議会制度研究会の設置など、様々な手法を活用した議会活動は、大変特徴的でありました。

今回の視察において、議会は市民と執行部の政策の隙間を埋めていく、議会報告会の意見を当初予算や決算での審議に生かして行く、議会活動に関し外部の意見を取り入れるといった、我々の今後の活動に大きなヒントを頂いたと考えます。

平成29年度においては、限られた財源の中、いかに市民ニーズを政策に反映させるかをテーマとして、議会報告会の見直し、議会内部の議論のあり方など、さらなる議会改革に取り組んで参ります。



議会報告会のようす



■総合交通・産業活性化対策

特別委員会

本特別委員会は、2年前の平成27年第3回定例会において、東九州自動車道や国道220号などの主要道路網や油津港をはじめとする総合交通網の整備促進、また、これらのインフラを生かした産業振興・雇用創出に関する諸問題に対処することを目的として、6名の委員をもって設置されました。

本年度の活動方針は、本委員会の設置目的である、東九州自動車道の早期整備、国道220号の防災整備、油津港の耐震化整備など、本市におけるインフラ整備について、国県等の関係機関に対する要望活動に継続して取り組む一方、先進的な取組に対する調査・研究を進めることといたしました。

まず、本特別委員会の設置目的である、インフラ整備に対する要望活動ですが、『東九州自動車道「清武く志布志間」の早期整備』、『命の道「国道220号防災対策の早期整備及び同国道の直轄管理の継続』、『重要港湾油津港の整備』の3項目について、県をはじめ、

宮崎河川国道事務所、九州地方整備局、国土交通省、県選出国会議員に対して、7月と10月の2回、それぞれ要望書を提出し、本市における各インフラ事業の必要性や事業効果を訴え、早期完成や整備促進等をお願いしたところです。

個別に本年度の整備等の動きを申し上げますと、まず、国道220号においては、生活と医療を支える命の道として、伊比井く富土間を結ぶ全長約700メートルの防災整備トンネルの着工が決まり、地区主催の式典が盛大に開催されました。



要望活動のようす(国土交通省)

次に、クルーズ船の寄港が増加している油津港においては、東アジアに新たに投入される可能性のある22万トン級の大型クルーズ船の寄港が可能かどうかなど、クルーズ船誘致に向けた基礎整備に関する調査が実施されました。

また、東九州自動車道「清武く志布志間」においては、昨年10月1日に「日南東郷く(仮称)油津間(3.2キロ)」の中心くい打ち式が執り行われました。これにより、日南東郷インターチェンジを起点に(仮称)油津インターチェンジまでの着工に向けた事業の取組が加速されていくものと考えております。

このような中で、昨年10月の要望活動の際は、9月26日に行われた安倍首相の所信表明演説の中で、『宮崎の油津港では、海外からのクルーズ船が、4年前の3倍に増えました。英語での観光案内を地元の高校生たちが買っているなど、地域に活気が生まれています。』と発言をされ、日南市の取組、地元高校生の取組などについて評価をいただき、要望活動を回る

先々において、大きな話題となりました。

この大きな流れを断つことなく、今後も継続して要望活動に取り組む、本市のインフラ整備が少しでも加速していけるよう寄与していきたいと考えております。

次に、先進的な取組に対する調査・研究として、鳥取県鳥取市を訪問いたしました。

『環日本海経済交流推進事業のマッチング支援』をテーマに、地元企業の海外進出に向けた相談やマッチング支援の取組、鳥取市内の大学留学生の市内への就職支援の取組、高度外国人人材の定着化に向けた取組などについて、それぞれの経緯、取組実績、各種問題点や改善事項などを伺いました。人口規模の違い、環境の違いなど多々ありますが、今後も地元産業の活性化につながる取組や先進事例について、さらに研究してまいります。

■ ICT活用推進特別委員会

本特別委員会は、平成28年第1回定例会において、議会運営や議会活動の効率化等を図る手段となるICT機器の活用を推進することを目的として、7名の委員をもって設置されました。

設置以降、12回の委員会を開催し、本市議会におけるICT機器の活用について、調査研究及び整理すべき項目についての協議を進めてまいりました。

また、昨年10月には、全員協議会において、全議員に実際にタブレット端末を体験していただき、今後、継続して研修等を行う必要性があるとの意見はあったものの、全議員がタブレット端末の導入・活用に対して推進的な意見があったところです。

本特別委員会として今年度は、「議会用タブレット端末の導入時期について」、「導入機器の仕様等について」、「端末操作研修の在り方について」、「会議規則の改正について」、「SNSを活用した議会広報について」の5項目について、検討・協議の内容をまとめ、議長

に対して調査結果の報告を行いました。

タブレット端末の導入・活用によつて期待される効果等は、市民と議会との距離感を縮める、開かれた議会形成に向けた議会改革のひとつの手法であり、そのことが市民にしっかりと伝わるよう、活用していくことが、市民と議会の距離感を縮める鍵になると考える次第であります。

依然として私ども議会を取り巻く課題は山積しており、市民の信託に応えるためには、留まることなく、議会の活性化を進めるとともに、市民により信頼され、市民と議会との距離感を縮めた開かれた議会となるよう、今後さらさら、議会改革を推進していく必要があると考えています。



是非、議会傍聴においでください!

■ 平成29年6月定例会 開催予定 ■

- 6月19日 開会、本会議
- 6月20日 本会議
- 6月28日 本会議(一般質問)
- 6月29日 本会議(一般質問)
- 6月30日 本会議(一般質問)
- 7月 3日 委員会審査
- 7月 4日 委員会審査
- 7月 5日 委員会審査
- 7月 7日 本会議(採決)、閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。



★インターネットでも議会がご覧いただけます!

本会議のようすは、下記のURLより生中継・録画放映でご覧いただけます。(スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。)

<http://www.nichinan-city.stream.jfif.co.jp/>



市政を 問う!

一 般 質 問

平成29年第1回定例会における「市政に対する一般質問」は、3月8日から10日の3日間行われ、11人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

質問の方法は「①一括方式」、「②一部壇上方式」より、議員が選択して実施しました。

- ① 一括方式とは … 議員が一括して壇上で質問し、市長が壇上で一括して答弁した後、再質問を質問席で行う方式です。
- ② 一部壇上方式とは … 議員が質問の一部を壇上で質問し、市長が壇上で答弁した後、議員が質問席から一問一答でやり取りする方式です。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ① 福岡 浩一 議員（一部壇上）〔市長の政治姿勢について、2巡目国体について、防災行政について、森林行政について〕
- ② 山田 一 議員（一部壇上）〔環境対策について、商工政策について、行財政改革について、教育行政について、地域の安全対策について〕
- ③ 川越 昇 議員（一部壇上）〔人口問題について、情報発信について、教育行政について、再生可能エネルギーについて、市長の政治姿勢について〕
- ④ 杉尾麻起子 議員（一部壇上）〔「貧困」について〕
- ⑤ 黒部 俊泰 議員（一部壇上）〔マイナンバーカードについて、子育て支援について、教育行政について、エスコートゾーンについて、水道事業について〕
- ⑥ 井福 秀子 議員（一部壇上）〔無登録農業被害を出さないために、生活困窮者・市民の生活再建支援について、子育て・保育について〕
- ⑦ 和足 恭輔 議員（一部壇上）〔市長の行動規範について、安心して暮らせるための地域防犯対策について、雇用創出策について、スポーツキャンプによる経済効果、交流人口対策について〕
- ⑧ 山本 定則 議員（一部壇上）〔政治姿勢について、国勢調査結果について、JR日南線について、労働問題について、意識調査について、地域医療について〕
- ⑨ 小玉 弘明 議員（一部壇上）〔市長の政治姿勢について、高齢化対策について、道路整備について、指定管理について、学校施設管理について〕
- ⑩ 田中 重信 議員（一部壇上）〔地域活性化について、インフラ整備について、事業効果検証について、庁舎建設について、学校教育について、中部病院について〕
- ⑪ 濱中 武紀 議員（一部壇上）〔市長の政治姿勢について、財政について、公共施設等の総合管理計画について、地域振興策について、子育て支援について〕



自由民主党日南市議員
福岡 浩一 議員

市長の政治姿勢について

(問) 崎田市政1期目4年間を総括して、出来た事とこれからの展望を聞く。

(答) 市長選挙時からの公約として、①「活力ある産業・地域の創造」②「未来を担う次世代の育成」③「安心して暮らせる環境整備」④「市役所改革」の4つの基本政策を掲げた。そして市政運営の基幹となる第2次行財政改革大綱と重点戦略プランを策定し、地方創生に関する様々な施策に取り組んだ。今後は、一層高いステージに市民と一丸となって押し上げていく。

(問) ライン流出問題について、現在日本国内全域で、市長が市役所女性職員に個人的に発信した不適切な文書メールが流出し拡散している。どうして拡散したのか。

(答) 女性職員がインフルエンザで休んでいたことを心配し、体調を思わんばかりにラインを55人編成のグループに誤送信し、その一部が外部に流出した。

(問) ラインの内容が、市役所女性

職員に送るには不適切なのではないかと物議がおこり、各分野のメディアに取り上げられている。新聞・雑誌・テレビ・インターネット等々。市政を混乱におとしめているが見解はどうか。

(答) 不適切な絵文字を使用したのは軽率であった。通常から絵文字を多用しており、深く考えず使用してあのような文章になった。また、指摘されているような職員と不適切な関係は断じてない。

(問) この問題で、歴代の市民・首長、職員が創ってきた新日南市が音を立てて崩れていくようであるが、責任を感じないのか。

(答) 先人の実績や信頼を揺るがした事は、真摯に反省している。今後は、このことを教訓に、市長という職責の重さを改めて肝に銘じ、失われた信用と信頼を取り戻すべく、謙虚な姿勢で施策にまい進していく。

森林行政について

(問) 串間市が杉植林の補助金の上乗せを予算化したのが歩調を合わせる考えはないか。

(答) 近隣の市町村の動向に注視して検討する。



自由民主党日南市議員
山田 一 議員

資源ごみ対策について

(問) 廃プラスチックの分別収集が始まるが、市民に対する広報は十分にできているのか。

(答) これまでも広報誌を活用した情報提供や、ゴミの出前講座等において説明を行っている。特に、昨年10月からは自治会や班単位で住民説明会を開催し、周知に努めている。また、今月15日発行の広報誌では、廃プラスチックの特集記事を掲載する。今後も改定したごみ辞典の全戸配布を行うなど、広く周知を図っていく。

小学校・中学校の統廃合について

(問) 少子化に伴う学校の統廃合など、今後の小中学校のあり方についてどのように考えているのか。

(答) 教育委員会としては、平成25年1月の日南市学校活性化推進委員による答申書「日南市小・中学校適正配置化基準」を教育委員会の方針としている。その配置化基準では、「単独校存続の学級基準」として小学校では4学級、中学校では3学級以上となっている。基準を満たさない学校については、地

域活性化協議会を設立し協議を開始する。小学校においては、小中一貫校の設置・近隣小学校との統合・単独校としての存続を、中学校においては小中一貫の設置の有無を協議する。さらに小中一貫校設置の基準を満たさない中学校は、近隣中学校との統合の検討に入る。

宮崎海上保安部の現状と今後について

(問) 巡視船「たちほ」に代わり巡視艇「しろかぜ」が配置されたが、今回どのような組織の見直しがあったのか。

(答) 今回の宮崎海上保安部の巡視船の配置換えは、九州南西海域における外国船等の監視体制を強化するため、種子島海上保安署が設置されたことに伴うものである。

(問) 海上保安部においては、新造船の建設や職員を増やすとの報道もあるが、市として国・県に要望活動を行う考えはないか。

(答) 海難防止や密漁・密輸の取り締まり等を強化する観点から、県や関係機関と連携を取り、巡視船等を宮崎海上保安部に配属してもらうよう、第10管区海上保安部や海上保安庁に対し、再度要望をしていく。



自由民主党日南市議員
川越 昇 議員

人口問題について

(問) 2015年国勢調査の本市の人口確定値を受けて、市長の見解はどうか。

(答) 前回の調査から5年間で、3599人の減少となり、非常に厳しい状況であると痛感しており、一旦市外へ出た若者が、見聞を広げ大きく成長して帰ってこられるよう、これまで同様働く場の創出に取り組んでいく。

教育行政について

(問) 子育て支援センターで行う木育について、小中学校での取組は今後どうしていくのか。

(答) 日南キューブを用いた積み木遊びを小学1・2年生の教育活動に取り入れ、小学4年生では「鉄肥杉探検隊」という学習単元を設定し、林業への理解を深めている。

また、中学生対象の処平塾の数学コースでも、日南キューブを活用した数学的活動を展開している。

再生可能エネルギーについて

(問) 広渡ダムでの水力発電所の可能性について、市長の考えはどうか。

(答) 県企業局に確認したところ、

現在可能性調査を行っている段階である。市としては県企業局と連携を図りながら情報収集を行い、本市の地形と気象等の優位性を活かした持続可能なエネルギーの可能性について非常に期待している。

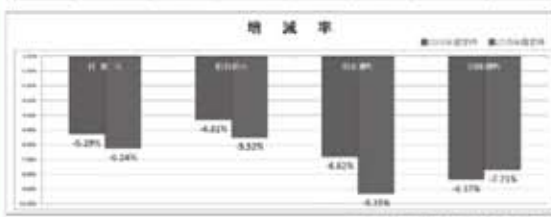
市長の政治姿勢について

(問) 日南市独自の地方創生のあり方について市長の考えはどうか。

(答) 本市の市民アンケートで「日南市に明るい未来を感じた」若者が増加している。生まれ育った地域に誇りと愛着を持つ若者が、将来日南市に帰ってきて、地域の課題を解決できる人材になることが理想である。そうした人材の育成が本市独自の地方創生である。

◎国勢調査の日南市の人口確定値

	2010年確定値	2015年確定値	増減数	増減率	2010年確定値	増減数	増減率
日南市	60,914人	57,669人	-3,245人	-5.33%	54,090人	-2,399人	-4.44%
(国勢調査)	44,297人	42,309人	-1,987人	-4.51%	39,936人	-2,334人	-5.85%
(国勢調査)	5,072人	4,727人	-345人	-6.82%	4,260人	-442人	-10.38%
(国勢調査)	11,544人	10,632人	-912人	-7.87%	9,894人	-822人	-8.31%



人口問題についての再質問で使ったパネル



自由民主党日南市議員
杉尾麻起子 議員

子どもの貧困について

(問) 経済的な貧困の所得基準を問う。

(答) 単身者では、基準額が可処分所得後の244万円となり、その半分の122万円に満たない方々がその対象である。

(問) 日南市の平均所得を問う。

(答) 平成25年度一人当たりの所得は、約199万9千円である。

(問) 要保護世帯数と小・中学生のいる保護世帯を問う。

(答) 生活保護世帯数は、518世帯。このうち小・中学生のいる世帯は27世帯(小・28人 中・23人)である。

(問) 情操教育についての見解は。

(答) 「自然から学ぶ力」の育成等をとおして、情操教育の充実を図っている。来年度、市内の小・中学生女子を対象にした仮称「日南市児童合唱団」を結成する。

(問) 子どもの朝食についての実態はどうか。

(答) 毎朝、朝食を食べている児童生徒は、小学5年生86・7% 中学生82・4%である。

高齢者の貧困について

(問) 本市の65歳以上の高齢化率は。

(答) 平成27年度は、35・0%である。

(問) 日南市の基礎年金受給額の平均はいくらか。

(答) 本市の平均受給額は、一人あたり月額5万5090円となっている。

(問) 生活保護費を受けないと生活が出来ない、夫婦とも65歳以上の世帯数と、一人暮らし高齢者世帯数を問う。

(答) 2人のみ世帯は16世帯、一人暮らしの高齢者世帯は239世帯である。

(問) 無年金者の生活保護受給者の人数と一人あたりの一か月受給金額はいくらか。

(答) 65歳以上の生活保護受給者は、329人。この内、年金受給の無い方は120人である。

(問) 医療・買い物における地域格差はどの様に考えるか。

(答) コミュニティパスの運行体系の在り方など、見直しを検討している段階である。





日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

市長のメール流出問題について

(問) 休日中の市職員へのメール内容は、市長としての品格を疑わざるを得ないもので、不適切な関係者を疑われる余地を残すもの。今、市長に問われているものは何であり、何を教訓とするのか。

(答) 市政を司る公人としての姿勢と、市政への信頼と信用を損ねた責任が問われていると認識している。市長という職責の重さを肝に銘じ、失われた信用と信頼を取り戻すべく、真摯に諸施策に取り組み、職責を全うする所存である。

消費者トラブル対策について

(問) 高齢化社会を迎え、悪質な訪問販売の増加を危惧している。市消費生活相談室に寄せられている相談件数を問う。

(答) 平成27年度は相談件数115件のうち訪問販売関連が7件、平成28年度の訪問販売相談件数は2月までで14件となっている。

(問) 市内で訪問販売する事業者に登録を義務付け、市と協定を結び、問題があるときは改善命令や、登録取り消しで販売禁止とする訪問

販売登録制度を提案した。検討の結果を問う。

(答) 登録制度は、専門家の間で、有益性等や効果、条例の考え方など意見が分かれている。現段階で、早急な制度導入については考えていない。

交流人口の拡大対策について

(問) プロ野球キャンプ期間中、土曜日の市内主要宿泊施設はほぼ満室と聞いている。栄松キャンプ場など、既存の宿泊施設をうまく活用して、宿泊者増による交流人口拡大につなげる考えはないか。

(答) 市民がキャンプ期間中にキャンプ場を活用するイベント等を行うのであれば、支援を考える。



栄松ビーチキャンプ場の常設テント。
電灯・コンセント付は6基



市民クラブ
山本 定則 議員

市長の政治姿勢について

(問) 当初予算で目玉となるものは何なのか。

(答) 主な事業としては、地方が必要とする人材や、起業を目指す人材の総合支援を行う。創客創人口一カルベンチャー支援事業、クルーズ船寄港を通して、油津港の更なる発展を図る。クルーズ船誘致促進事業、新規農業者が後継者のいない高齢農家から、円滑に経営継承を行う、経営継承支援事業等である。

(問) 南郷町総合支所が移転したが、市民の不満の声の改善策はどうか。

(答) 南郷地域を運行しているコミュニティバスの2つの路線の内、総合支所を新たなバス停として追加することを検討していたが、もう一つの路線との公平性に欠けるとの見方もあり、現在その対応策を検討している。

(問) 旧南郷町総合支所の活用方法はどうか。

(答) 現在、倉庫として活用しているが、耐震強度不足のため倉庫以外の活用については無理である。

JR日南線について

(問) 日南線の廃止の関係を危惧しているが状況はどうなのか。

(答) JR九州宮崎鉄道事業部では、最新の数値は出ていないが、これまで把握している数値では、1日当たりの乗車数が平成10年度に對し、27年度では約半数になっている。又ここ10年間ではほぼ横ばいの状態である。

(問) 高校生への補助はどうか。

(答) 関係機関から情報収集したが、県内において補助をしている自治体はない。

地域医療について

(問) 在宅医療や小児医療等、更なる地域医療の充実が必要であるが、今後の取組はどうか。

(答) 在宅医療介護連携推進協議会を設置し、在宅医療に携わる医師の負担軽減や、医療介護連携のため情報共有システムを整備した。今後南那珂医師会と連携し、在宅医療への参入促進対策に取組んでいく。

(問) 医師の充足状況はどうか。

(答) 宮崎大学医学部や県の協力を得ると共に、南那珂医師会とも十分協議し、将来的な医師確保対策について検討する。



無会派
小玉 弘明 議員

市長の政治姿勢について

(問) 公立保育所施設の民営化に伴う土地使用料の無償化の今後の対応と対策を問う。

(答) 民営化にして10年間は貸付料を無償としていたが、他の高齢者福祉施設等と同様に財務規則の規定を適用し、次回の契約更新から20年間は無償化とする。

高齢化対策について

(問) 地域密着型サービスの取組と対策を問う。

(答) 認知症対応型通所介護は1か所の施設があるが、細田地区に定員12名のデイサービスが4月から運営する。小規模多機能型居宅介護は2か所の施設があるが、飢肥地区に定員29名の施設が4月から運営する。認知症対応型共同生活介護は3か所の施設があるが定員9名のグループホームが8月に完成する予定である。

(問) 小規模多機能型居宅介護について問う。

(答) 通所を中心に利用者の選択に応じて訪問系や泊まりのサービス

を組み合わせられる。「地域包括ケアシステム」の中でも最も有効な施設である。

(問) 包括支援センターの役割を問う。

(答) 認知症高齢者の増加も見込まれることから平成29年度より地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、センターの機能強化を図る。

道路整備について

(問) 里道等の対応と対策を問う。

(答) 地域住民の生活道路等として密接に関係するので、自治会等にお願ひし、補修時は環境整備支援事業で原材料を支給している。生活道路は里道舗装整備事業で整備し、生活環境の改善を図る。

(問) 飛ヶ峯橋の整備計画を問う。

(答) 平成29年度に市道橋りょう長寿命化事業で84か所の点検を行う。その結果に基づき計画的に長寿命化対策を講じる。

体育施設指定管理について

(問) 次年度からの日南・北郷エリアにおける指定管理について問う。

(答) 4月からTJグループ(太陽ビル管理・株ジェイレック)が指定管理を行う。



改政クラブ
田中 重信 議員

地域活性化について

(問) 東九州自動車道の供用開始時期はいつごろか。

(答) 北郷から東郷間は平成29年度中。清武・北郷間、東郷・油津間は未定である。

(問) 経済効果についてはどうか。

(答) 産業振興、雇用創出を期待。広域医療圏のアクセス拡大など、魅力あるまちづくり推進に資する。

(問) 最終年度末を迎えた中心市街地活性化事業の達成見込みは。

(答) 「1日の平均歩行者・自転車通行量」は達成見込み。「定住人口」については難しいが、引き続きフオーアップ事業に努める。

インフラ整備について

(問) ピーク時の40%まで落ち込む高齢・少子・人口減時代の、市道・橋梁などの維持管理にかかる財源不足への対応をどうするか。

(答) 市道1300路線、720.6km、421橋梁について、事後修理対応から予防保全による計画的な維持管理へ転換し、経費削減と安全性の確保に努める。

(問) 中山間地のインフラ整備につ

いて、どう対応するのか。

(答) 市長自ら、地域自治会連合会との対話などを行い、地域の実情に応じた過疎対策を講じる。

ふれあいいきいきサロンについて

(問) 設置数の推移を問う。

(答) ほぼ横ばいだが、社協と連携して積極的に普及拡大を図る。

庁舎建設について

(問) 計画は人口減少を想定した規模となっているか。

(答) 検討中であるが、総務省の基準をもとに算定する。

(問) リース事業の活用はどうか。

(答) 合併推進債の対象外である。

(問) 専用議場は不要。多目的ホールで十分と考えるがどうか。

(答) 今後、議会にもお諮りする。



築60年を経過し、取り壊し予定の本庁舎と議会棟



改政クラブ
濱中 武紀 議員

財政について

(問) 平成28年度予算規模が301億円と膨らんだ理由は何か。

(答) 保育所等の施設整備への補助金に約3億2700万円、鶴戸参宮線などの災害復旧事業が5億3千万円など、様々な建設事業が重なったことによる。

(問) 合併後の行革大綱では、予算規模は年次のゆるやかに減少となっていたがどうか。

(答) 人口減少に伴う税収の減や、普通交付税の段階的減少などを念頭に置き、予算編成を行っていく。

公共施設等の総合計画について

(問) 公共施設等総合管理計画には、新庁舎建設の計画も含まれているのか。

(答) 新庁舎建設については、個々の項目での記載はない。

(問) 現在の施設をそのまま維持した場合に、今後40年間で年40億円かかるが、財政的に賄えるのか。

(答) 人口減や高齢化が進む中で、毎年40億円の支出は、現実的に不

可能である。

(問) 短期的に見直す必要がある公共施設は、早急に住民説明会を開き理解を求める必要があるのではないか。

(答) 市民生活や地域コミュニティ維持に影響が出ないよう施設保有量の削減について、地域住民等の意見を聞きながら丁寧に進める。

(問) 新庁舎は財政が厳しいのなら、もっと小規模な庁舎にすべきではないか。

(答) 既存施設を活用しながら、適正な建設規模となるよう検討を行っている。

地域振興策について

(問) 鶴戸小中学生の部活後の通学支援のバス対応策をどうするのか。

(答) 小学生には全額を、中学生には月1300円を超える分について補助している。これに加えての新たな支援は考えていない。

(問) 鶴戸神宮付近の観光消費拡大の取組はどうするのか。

(答) 個別に観光事業者との意見交換を行い、14日には鶴戸地区の関係者の皆様との意見交換を予定している。今月末までに消費額アップ等の事業を取りまとめる。

**議場及び議会事務局
移転のお知らせ**

4月24日(月)より、議場及び議会事務局が、日南市保健福祉総合センター(ふれあい健やかセンター)5階へ移転いたしました。

議場等の配置につきましては、右図のとおりとなります。

今後とも市議会に対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局：TEL(0987)31-1142
E-mail：gikai@city.nichinan.lg.jp



審議結果一覧

※平成29年第1回定例会の審議結果を掲載しております。



【平成28年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第1号	平成28年度日南市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	原案可決
議案第2号	平成28年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	原案可決
議案第3号	平成28年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第4号	平成28年度日南市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	原案可決
議案第5号	平成28年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第6号	平成28年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第7号	平成28年度日南市漁業集落排水特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第8号	平成28年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第9号	平成28年度日南市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第10号	平成28年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第11号	日南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第12号	日南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第13号	日南市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第14号	日南市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第15号	日南市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第40号	日南市監査委員の選任について	—	原案同意
議員提出議案第8号	平成28年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	—	原案可決

【平成29年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第16号	平成29年度日南市一般会計予算	原案可決	原案可決
議案第17号	平成29年度日南市国民健康保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第18号	平成29年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第19号	平成29年度日南市介護保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第20号	平成29年度日南市病院事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第21号	平成29年度日南市簡易水道特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第22号	平成29年度日南市農業集落排水特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第23号	平成29年度日南市漁業集落排水特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第24号	平成29年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第25号	平成29年度日南市公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第26号	平成29年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第27号	平成29年度日南市水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第28号	日南市移住促進住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第29号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	原案可決
議案第30号	日南市職員旅費支給条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第31号	日南市地域福祉基金条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第32号	日南市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第33号	日南市杉の友教育振興育英基金条例を廃止する条例	原案可決	原案可決
議案第34号	日南市有住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市工場立地法準則条例	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市観光施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第33号	日南市杉の友教育振興育英基金条例を廃止する条例	原案可決	原案可決
議案第34号	日南市有住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市工場立地法準則条例	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市観光施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意

採決結果一覧

賛否の別れた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。
 なお、表中の記号は次のとおりです。（○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長）

議案番号	議案名	審査員結果	杉尾	北川	郡司	谷口	小玉	川越	黒部	林一	山田	山本	川口	前田	岩永	濱中	福岡	和足	安竹	中尾	井福	田中	採決結果	
議案第16号	平成29年度日南市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議	○	×	○	原案可決
議案第18号	平成29年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議	○	×	○	原案可決
議案第29号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議	○	×	○	原案可決

注1) 議長は採決には加わりません。
 注2) 議案の賛否は原案についての表決です。

議会日誌

(1月から3月・抜粋)

【1月】

- 11日 議員懇談会、議会だより編集委員会
- 16日 東京都品川区議会が行政視察のため来訪
- 18日 沖縄県沖縄市議会が行政視察のため来訪
- 23日 三重県鈴鹿市議会が行政視察のため来訪、山口県防府市議会が行政視察のため来訪
- 24日 総合交通・産業活性化対策特別委員会行政視察(26日まで、鳥取県)
- 25日 静岡県伊東市議会が行政視察のため来訪
- 31日 愛知県大府市議会が行政視察のため来訪

【2月】

- 6日 千葉県袖ヶ浦市議会が行政視察のため来訪
- 8日 自由民主党日南市議段行政視察(9日まで、大阪府西成区)
- 9日 兵庫県朝来市議会が行政視察のため来訪、神奈川県大和市議会が行政視察のため来訪
- 16日 議会運営委員会、議員懇談会、福岡県京都郡町議長会が行政視察のため来訪
- 23日 全員協議会、3月定例会開会、本会議、予算審査特別委員会全体会議、議員懇談会、議会運営委員会、委員会審査
- 27日 予算審査特別委員会全体会議、本会議、全員協議会、議会運営委員会、各常任委員会、議会だより編集委員会
- 28日 本会議、予算審査特別委員会全体会議、議会だより編集委員会

【3月】

- 8日 本会議(一般質問:10日まで)
- 9日 ICT活用推進特別委員会
- 10日 議会改革推進特別委員会、総合交通・産業活性化対策特別委員会
- 13日 委員会審査(15日まで)
- 17日 議会運営委員会、予算審査特別委員会全体会議、全員協議会、本会議、議会改革推進特別委員会、議会だより編集委員会

トピックス

市議会に新たな議員が誕生しました!

昨年、お二人の現職議員がご逝去されたことに伴う市議会議員補欠選挙が4月16日に執行され、『河野通博議員(仮肥地区在住)』と『岩元 猛議員(細田地区在住)』が当選されました。

これからは、議員としての自己研鑽に努めていただきながら、日南市議会議員の一員として、現職議員と共に、市当局と是々非々で大いに議論を闘わせ、市民の負託に応える努力をしていってくれることを期待しています。

これからも市議会に対しまして、市民の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



河野 通博 議員



岩元 猛 議員

■ご意見をお待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望がございましたら、下記までご連絡ください。

[日南市議会事務局]

TEL : 0987-31-1142 FAX : 0987-31-1778

E-mail : gikai@city-nichinan.lg.jp



編集後記

改選から早や2年。議員の任期も半ばを過ぎようとしています。この2年間を振り返ると、倉岡郁夫議員、井戸川格議員の二人の現職議員のご逝去という悲しい出来事もありました。党派は違えど、市民のために、という思いは議員が共有し合えるものです。生前のお二人の志に思いをはせながら、議員任期の折り返し点で、自らの議員活動を総括し、残る任期を全うするため糧にしなればと思います。

さて、3月定例会では、議会の申し合わせにより、3常任委員会の委員構成が新しくなりました。議会だより編集委員会も新しくなり、今号が新編集委員会の最初の仕事となりました。

議会だより編集委員会は、今後、議会改革を進めていく中で、新たに議会広報広聴委員会として活動内容を検討していくこととなります。議会改革の途上ではありますが、編集委員一同、市民の皆様の手にとって読んでいただける、親しみのもてる紙面づくりに全力を注いでまいります。

(記) 和足 恭輔

【議会だより編集委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 和足 恭輔 |
| 副委員長 | 田中 重信 |
| 委員 | 杉尾麻起子 |
| | 北川浩一郎 |
| | 黒部 俊泰 |
| | 山本 定則 |